

協力隊だより 10月号

活動開始
令和7年4月から



金澤直道

(かなざわ・なおみち)

御嶽王滝

山と水と木のプロジェクト

今年四月中旬の着任以来、

紆余曲折はありましたが、村長承認のもと「御嶽王滝山と水と木のプロジェクト」の立ち上げ準備を進めてまいりました。このプロジェクトでは、「協力隊として自分がやりたいこと」ではなく、村民の皆さまや外部の関係者へのヒアリングを行い、必要な調査を重ねながら、「いま王滝村のために何が必要か」を見極めることを目的として取り組んできました。その過程で、三十名近くの方々にお話を伺い、貴重なご助言をいただいてい

ます。また、村の歴史、財政状況、そして公営企業観光施設事業会計を含む運営面についても調査を行い、現状把握に努めてきました。その結果、明らかになってきたのは——「もはや王滝村には現状維持という道は存在しない」という厳しい現実でした。

王滝村が持つ可能性

しかし、以前からお伝えしてきたとおり、王滝村には他にはない素晴らしい資源があります。その価値は、マーケティングの観点からも非常に優れたポテンシャルを持っており、国内のみならず海外にも通用する上に、目の肥えた富裕層、しかも「超」がつくような富裕層ですら魅了できるほどです。にもかかわらず、その価値が十分に活かされていない——

それはまるでダイヤモンドの原石がポケットの中にあるのに、その価値に気づかず、磨かれないまま放っておかれていくようなものです。

ダーウィンの進化論を題材に、ルイジアナ州立大学で経営学の教授だったレオン・C・メギンソンはこう述べています。

「最も強い種が生き残るのではない。」

「最も賢い種が生き残るのではない。」

「変化に最もよく適応した種が生き残るのだ。」

今、王滝村は変化を求められている。そう強く感じます。

変えるべきもの

変えてはいけないうもの

しかし、何でも変えれば良いというものではありません。守るべきものは守らなければならない。変化して未来を切り開いていくためには、王滝

村にとって何が大切なのか——「王滝村が軸とすべきことは何なのか」を見極める必要があるということ。それが分からなければ、何を守り、何を变えるべきなのか判断ができません。その「王滝村の軸」を調査の中で見だし、動画にまとめました。

【動画】王滝村の軸となるべき資産

マーケティング視点による
王滝村の軸となるべき資産

<https://youtu.be/Qqovr0iTPAA>

<QRコード>





上記の他にも、王滝村には、豊かな自然と気候風土、星空、雲海、清流、雪質、百草、郷土料理など、素晴らしい資産が沢山あるのです。

王滝村再生プラン

これらの軸を土台に、王滝村が前に進むための十六の施策を「王滝村再生プラン」としてまとめ、村長へ提案しました。王滝村の状況は、何か一つ改善すればよいという状

況ではありません。この提案はあらゆる分野に及んでおりこのプランに真摯に取り組めば、王滝村は輝きや活気を取り戻しながら、村内の平穏な生活も守られる。そう確信しています。これは本来、地域おこし協力隊が担うべき範囲を超えた内容であることは自覚しています。また、正直なところ、着任当初はここまで踏み込むつもりは全くありませんでした。本音を言えば、

外から来た人間は、角が立たないように振る舞い、愛想よくしているほうがラクなのです。しかし、王滝村の厳しい現状が分かってしまった以上黙って見過ごすことはできませんでした。

なお、この「王滝村再生プラン」は、通常は外部の専門家に依頼して、調査から提案まで進めるような規模のものです。

すでに「勉強会を開いてほしい」とのお声も数名の方か

らいただいておりますので、ご興味のある方はお気軽にお声がけいただければと思います。

王滝村の未来のために

王滝村のみなさんが、この提案をどう受け止め、どう行動していくのか。王滝村のさまざまな資産をどう活かすのかそして、そのためにどうやって外からの人材や若い世代を迎え、接していくのか。優秀な人材ほど、「ここで自分が成長できるのか?」「ここに『自分の未来』があるのか?」を敏感に見極めます。また、

今の日本は『超ホワイト社会』です。法的にも倫理的にも『正しさ』が求められSNSの普及によってあらゆるものがつまびらかになる時代になりました。もはや昔と同じ発言や行動は受け入れられない時代なのです。

これまでの延長線上で、「やり方」を変えるのではなく、「考え方」を変えられるか。王滝村の未来はそこにかかっているのだろうと思います。

王滝村の未来を決めるのは、村民の皆さま一人ひとりの行動や選択です。微力ながら、私はこれからも王滝村のために全力で取り組んでいくつもりです。



十二権現の紅葉

活動開始
令和7年4月から



森岡直子

(もりおか・なおこ)

九月～十月は秋の実りを満喫した二か月でした。

村内産のトマトを分けていただき、トマトケチャップやトマトソースをたくさん作りました。食文化継承事業で習った王滝村の郷土食「辛なんばん糰味噌」も自宅でもう一度作ってみました。作ったも



村内産のトマトで作ったソース

のは、広島の中間のところへ送って食べてもらい、王滝村の郷土食を、私が来た広島に少しではありますが、知ってもらえたいと思います。



食文化継承事業の様子

また、十一月に実施する食文化継承事業でどんぐり料理を作るので、レシピを作っているのですが、そのためにどんぐりをたくさん拾っていました。

知っているところが樽沢林

道しかなかったもので、どんぐりはないか？と探していたら、代わりに栃の実を拾ったり、王滝なますが作りたくて、胡桃を探していたり、林道や胡桃の木の下で村道で下を向いて拾っている姿を村民の方がたくさん通りがかり、『何しているの？』『熊が出るから、気を付けて』『胡桃は煎って食べるとおいしいぞ』と車を止めて声をかけてもらって、とてもうれしかったです。でも：春に続き、道端でいろんなものを拾っている姿は、あからさまに怪しかったのではないのでしょうか（笑）

王滝村に来てからの時間がたつにつれて、『森岡は何か拾っている』と皆さんに思われているのでは？と思うとちょっと恥ずかしい半面、道でも声をかけていただけるとなると、少しでも私のことを知ってくださる方が増えたのだな、という思いで、本当にうれしいです。



また、日本古来の野草や薬草とハーブをお茶として提供するイベントを『野草喫茶』と題して、まほろば珈琲の横をお借りして開催しました。お茶は王滝村で採取したクロモジ茶を提供しました。

王滝村で採取したクロモジは『オオバクロモジ』という広島では見なかったクロモジで、葉が大きいのですが、広島で採れたものと同じようにさわやかな香りがします。

クロモジは胃腸の調子を整えたり、抗菌作用が強くてインフルエンザの予防に効果が期待出来たりと、風邪が流行るこれからの季節にもよい薬草でもあります。

『王滝村でも採れるの？』
『さわやかで飲みやすいね』
『とてもいい香り』と口々に言っていたいた半面、『もう少しパンチがあるものが飲みたい』というご意見もいただきました。

王滝村に来てからお茶にで



地域おこし協力隊の森岡です。日本の有用な野草や薬草『和ハーブ』を活用したり、郷土食を学びたいと思って私が王滝村に来てから6か月が経ちました。

私の好きな王滝村の和ハーブをお茶として飲んでもらいたい、と思い、『野草喫茶』を始めます。



オオバクロモジ



ナギナタコウジュ

ぜひお気軽にお立ち寄りください

主催：地域おこし協力隊 森岡 直子

連絡先：王滝村役場総務課 企画財政係 0264-48-2001

協力：王滝村教育委員会

協力隊だより発行…王滝村役場

編集…協力隊伴走支援委託業者・合同会社Rext滝越

きそうな野草や薬草を少しずつ採取して乾燥しています。これから野草喫茶を定期的に開催して、王滝村の植物を再発見していただけるようにしていきます。

次は十一月十五日（土）村民広場で開催します。またそれ以降の野草喫茶の予定は回状でお知らせいたします。お時間あれば、ぜひお立ち寄りください。



野草喫茶の様子